

2022 AUTOBACS SUPER GT Round 4 FUJIMAKI GROUP FUJI GT 100Lap RACE

2022年8月6日(土)

予選 レポート



場所: 富士スピードウェイ (静岡県) 1周 4,563m 観客動員数: 29,300人
天候: 曇り | コース: ドライ | 気温/路温 Q1 開始 21°C/28°C Q2 開始 22°C/26°C

富士での連続ポールポジションを目指すも僅差の2位

2022年 SUPER GT シリーズは、第4戦を富士スピードウェイ(静岡県)で迎えた。第3戦鈴鹿から2か月のインターバルの間、マシン性能を向上させるべくテストや解析を実施し、前回の第2戦富士よりサクセスウエイト20kg+Bop25kg の計45kgも重い事も考慮したマシンセッティングで持ち込んだが、事前の想定より気温・路面温度共にかなり低く、フリー走行で最終調整を行った。

8月6日(土)

<公式予選 Q1 B組/ 15:18~15:28>

#61 SUBARU BRZ R&D SPORT は Q1 B組。上位8位以内に入り Q2へ繋げるべく、Q1は今回も井口卓人が担当した。計測3周目からアタックすることを想定してコースインし、予定した計測3周目にアタックするが、タイヤの温まりが足らず、さらなるアタックを



www.rdsport.net

続け、計測4周目に1分36秒834までタイムを上げ、5番手でQ1を通過した。



<公式予選 Q2/ 15:55~16:05>

Q1アタック時の状態を確認し、Q2担当の山内英輝に合わせて最終調整を行い挑んだ。山内は計測3周目に見事なアタックで1分35秒567の好タイムでトップタイムに立つが、#65 AMG に0.017秒更新される。翌周もアタック続けるがタイム更新はできず、惜しくも2番手となる。なお GT500クラスのポールポジションは#19 WedsSport ADVAN GR Supraが獲得した。

■澤田監督 コメント



今回の富士もポールポジションを狙っていましたが、2番手は少し悔しいです。しかしフロントローグリッドからのスタートはレース戦略としては良い状況です。決勝レースは上位グループで優位な展開で進め、良いポジションをキープできるよう攻めの戦略を考えます。

予選の詳細に関しては SUPER GTホームページ <https://supergt.net/> 、
またSUBARUモータースポーツマガジン <https://www.subaru-msm.com/2022/sgt/report/> もご覧ください

2022年8月6日
SUBARU BRZ
アールアンドデースポーツ
<http://www.rdsport.net/>



www.rdsport.net